



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 中外鉱業株式会社

上場取引所 東

コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西元 丈夫

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長 (氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	84,039	30.6	281	55.5	238	58.4	229	37.3
2023年3月期第3四半期	64,332	86.8	632	52.3	572	61.1	365	6.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 229百万円 (37.3%) 2023年3月期第3四半期 365百万円 (6.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	0.80	
2023年3月期第3四半期	1.27	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	11,504	7,118	61.9	24.70
2023年3月期	10,757	7,177	66.7	24.90

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 7,118百万円 2023年3月期 7,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		0.50	0.50
2024年3月期		0.50			
2024年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,300	15.9	580	27.0	460	29.0	450	13.1	1.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	289,747,982 株	2023年3月期	289,747,982 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,536,085 株	2023年3月期	1,533,966 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	288,213,165 株	2023年3月期3Q	288,215,087 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への分類移行に伴い社会・経済活動の正常化に向けた動きがみられたものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による資源・エネルギー価格の高騰や円安による物価上昇、世界的な金融引き締めに伴う海外経済の下振れリスク等、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金価格は、各国主要銀行の政策金利の動向や米国経済、地政学的リスク等の影響を背景に史上最高値を更新するなど、引き続き高値を維持しております。プラチナ・パラジウム市況において、プラチナ価格はガソリン車触媒に用いられるパラジウムからの代替需要が進展しているものの、EV普及による需要低迷等から概ね横ばいで推移し、パラジウム価格は将来のEV普及による需要減退や新規需要にも乏しいこと等から下落基調で推移いたしました。業績については、金・白金族の集荷量が堅調に推移し工場稼働率が高水準で推移したものの、パラジウム価格の下落や宝飾業界の市場規模縮小等が影響し前年同期比を下回る結果となりました。不動産市況においては、住宅市場の需要は堅調であるものの、地価高止まりや建築資材の高騰等、事業環境は厳しい状況の下推移いたしました。機械市況においては、外需は米国での金利高や中国経済の景気減退感等から設備投資の様子見する動きがみられ、内需においては、自動車や半導体関連装置は調整局面が継続しており、厳しい事業環境の下推移いたしました。コンテンツ事業においては、一部商品において在庫の適正化を図ったものの、温浴施設等で協業を図り販売網の拡充を行った他、人気タイトルのグッズ販売が堅調であったことから、業績は概ね堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は84,039,476千円(前年同四半期64,332,004千円30.6%増)、営業損益は281,404千円の利益(前年同四半期632,276千円の利益)、経常損益は238,784千円の利益(前年同四半期572,134千円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損益は229,212千円の利益(前年同四半期365,281千円の利益)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は80,335,302千円(前年同四半期61,025,131千円)、営業損益は498,400千円の利益(前年同四半期689,107千円の利益)となりました。

不動産事業におきましては、売上高は439,490千円(前年同四半期342,985千円)、営業損益は14,909千円の損失(前年同四半期8,424千円の損失)となりました。

機械事業におきましては、売上高は581,849千円(前年同四半期756,917千円)、営業損益は16,702千円の損失(前年同四半期26,455千円の利益)となりました。

コンテンツ事業におきましては、売上高は2,684,302千円(前年同四半期2,162,505千円)、営業損益は256,691千円の利益(前年同四半期258,268千円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より747,319千円増加し、11,504,582千円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末より152,624千円増加し、8,483,342千円となりました。

増加の主なものは、商品及び製品の増加(2,374,677千円から2,494,436千円へ119,758千円の増加)、仕掛品の増加(559,657千円から720,720千円へ161,062千円の増加)及び原材料及び貯蔵品の増加(690,460千円から1,229,339千円へ538,878千円の増加)であります。

減少の主なものは、現金及び預金の減少(3,418,230千円から3,094,333千円へ323,897千円の減少)及び販売用不動産の減少(387,151千円から129,198千円へ257,952千円の減少)であります。

固定資産の残高は、前連結会計年度末より594,695千円増加し、3,021,240千円となりました。

増加の主なものは、建設仮勘定の増加(19,739千円から508,755千円へ489,016千円の増加)であります。

流動負債の残高は、前連結会計年度末より262,334千円増加し、3,464,917千円となりました。

増加の主なものは前受金の増加(1,031,219千円から1,641,812千円へ610,593千円の増加)であります。

減少の主なものは短期借入金の減少(1,545,550千円から1,326,000千円へ219,550千円の減少)であります。

固定負債の残高は、前連結会計年度末より544,050千円増加し、921,416千円となりました。

増加の主なものは長期借入金の増加(152,383千円から700,230千円へ547,847千円の増加)であります。

純資産の残高は、前連結会計年度末より59,065千円減少し、7,118,249千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月10日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。今後の業績動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,418,230	3,094,333
売掛金	714,021	646,901
商品及び製品	2,374,677	2,494,436
仕掛品	559,657	720,720
原材料及び貯蔵品	690,460	1,229,339
販売用不動産	387,151	129,198
仕掛不動産	54,217	54,371
預け金	194	194
その他	172,175	153,915
貸倒引当金	△40,068	△40,068
流動資産合計	8,330,717	8,483,342
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,007,439	1,019,183
減価償却累計額	△741,951	△756,284
建物及び構築物(純額)	265,488	262,898
機械装置及び運搬具	552,302	583,680
減価償却累計額	△489,859	△504,628
機械装置及び運搬具(純額)	62,442	79,052
土地	1,472,391	1,472,391
その他	156,911	174,586
減価償却累計額	△125,443	△132,984
その他(純額)	31,467	41,602
建設仮勘定	19,739	508,755
有形固定資産合計	1,851,529	2,364,701
無形固定資産		
コンテンツ資産	7,200	7,200
その他	16,466	23,758
無形固定資産合計	23,666	30,958
投資その他の資産		
投資有価証券	110,071	110,071
出資金	120,615	150,454
敷金及び保証金	155,878	150,012
繰延税金資産	159,721	160,744
その他	5,063	54,299
投資その他の資産合計	551,349	625,581
固定資産合計	2,426,545	3,021,240
資産合計	10,757,263	11,504,582

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	226,981	143,849
短期借入金	1,545,550	1,326,000
関係会社短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	69,746	53,061
未払金	28,502	22,821
未払法人税等	7,298	10,253
前受金	1,031,219	1,641,812
契約負債	1,327	2,218
その他	141,958	185,521
解体費用引当金	100,000	29,380
流動負債合計	3,202,583	3,464,917
固定負債		
長期借入金	152,383	700,230
金属鋁業等鋁害防止引当金	3,953	3,953
預り敷金保証金	2,409	2,316
資産除去債務	207,455	207,455
その他	11,165	7,462
固定負債合計	377,365	921,416
負債合計	3,579,948	4,386,333
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	6,148,926	6,148,926
利益剰余金	1,009,824	950,821
自己株式	△81,436	△81,499
株主資本合計	7,177,314	7,118,249
純資産合計	7,177,314	7,118,249
負債純資産合計	10,757,263	11,504,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	64,332,004	84,039,476
売上原価	62,039,012	81,756,446
売上総利益	2,292,992	2,283,029
販売費及び一般管理費	1,660,716	2,001,624
営業利益	632,276	281,404
営業外収益		
受取利息及び配当金	15	13
国庫補助金収入	8,703	8,593
保険金収入	—	1,119
為替差益	—	29,890
その他	3,194	3,187
営業外収益合計	11,913	42,804
営業外費用		
支払利息	7,571	10,826
休山管理費	59,991	67,671
その他	4,492	6,926
営業外費用合計	72,055	85,424
経常利益	572,134	238,784
特別利益		
固定資産売却益	444	474
特別利益合計	444	474
特別損失		
解体費用引当金繰入額	100,000	—
固定資産除却損	—	814
減損損失	198,402	—
特別損失合計	298,402	814
税金等調整前四半期純利益	274,176	238,443
法人税、住民税及び事業税	10,253	10,253
法人税等調整額	△101,358	△1,022
法人税等合計	△91,105	9,231
四半期純利益	365,281	229,212
親会社株主に帰属する四半期純利益	365,281	229,212

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	365,281	229,212
四半期包括利益	365,281	229,212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	365,281	229,212

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	コンテンツ 事業			
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	61,025,131	331,938	756,147	2,162,505	56,282	64,332,004	—
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	11,047	770	—	—	11,817	△11,817
計	61,025,131	342,985	756,917	2,162,505	56,282	64,343,822	△11,817
セグメント利益又はセグメント損失 (△)	689,107	△8,424	26,455	258,268	△8,164	957,241	△324,965

	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高	
(1) 外部顧客への売上高	64,332,004
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—
計	64,332,004
セグメント利益又はセグメント損失 (△)	632,276

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業、太陽光発電による売電収入、不動産賃貸収入及びインターネットカフェ事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△324,965千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△324,965千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントにおいて、建物及び構築物の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、前第3四半期連結累計期間において198,402千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	コンテンツ 事業			
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	80,335,302	428,442	581,849	2,684,302	9,579	84,039,476	—
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	11,047	—	—	—	11,047	△11,047
計	80,335,302	439,490	581,849	2,684,302	9,579	84,050,523	△11,047
セグメント利益又はセグメント損失 (△)	498,400	△14,909	△16,702	256,691	△7,532	715,946	△434,542

	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高	
(1) 外部顧客への売上高	84,039,476
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—
計	84,039,476
セグメント利益又はセグメント損失 (△)	281,404

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業、太陽光発電による売電収入及び不動産賃貸収入を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△434,542千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△434,542千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。